

あっ!

こんなところにも ユニバーサルデザイン



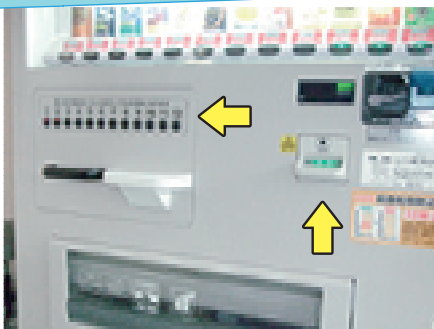
三条市内にもいろいろな所にユニバーサルデザインがあるんだよ！
いくつか紹介しますね。みなさんも身の回りにあるユニバーサル
デザインを探してみてください！

エレベーター



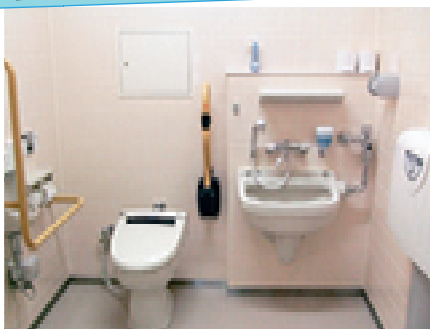
子どもや車イスを使用している
人でも手が届くように低い位置
にもボタンがあります。

自動販売機



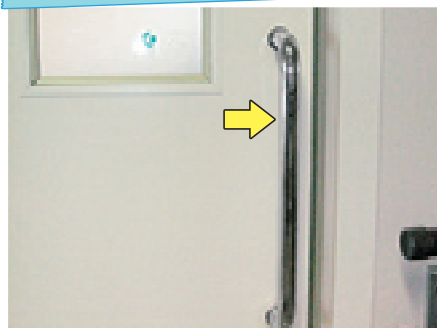
子どもや車イスを使用している
人でも利用しやすいように、低い
位置にボタンがあったり、お金
が入れやすくなっています。

多目的トイレ



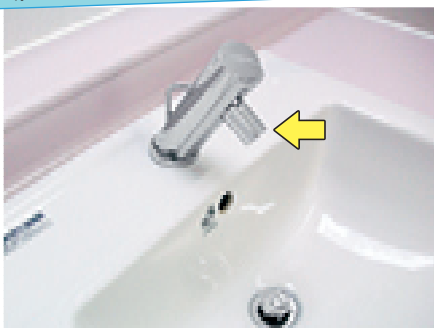
障がいのある人だけでなく、
小さな子ども連れの人なども
利用できるように設備が整って
います。

スライドドア



大きな荷物を持っている時でも
ひじで開けることができます。

洗面所の水栓(センサー式)



蛇口に手を差し出すと自動で
水が出るので、指や手をケガ
していても水を出すことがで
きます。

実は、このリーフレットにも
ユニバーサルデザインが
かかれているんだよ！
紙の折り目の長さが違うのは、
めくりやすいように
少し工夫してみたんだ！
みなさんはめくりやすかった
かな？



**みんなで始めようユニバーサルデザイン！
みんなにやさしい三条市を目指して！**

三条市役所 市民部 市民窓口課 市民係

〒955-8686 新潟県三条市旭町2丁目3番1号 Tel:0256(34)5511(内線476) Fax:0256(31)1105
E-mail:simin@city.sanjo.niigata.jp ホームページ:http://www.city.sanjo.niigata.jp/



みんな知ってる？

ユニバーサル デザイン



ぼく、ゆうちゃん。
今、ユニバーサルデザインを勉強して
いるんだ！
みなさんはユニバーサルデザインって
どんなものか知ってる？
実は身近にあるんだよ！
そんなユニバーサルデザインを、
ぼくがみなさんにご紹介しま〜す!!

三 条 市

Q1 「ユニバーサルデザイン」ってなに？

心身の機能や能力、その時おかれている状況などの違いに関わらず、できるだけ多くの人が使いやすい環境づくりをすることです。

例えば…



では、身近にあるユニバーサルデザインを7つのルールにそってご紹介します //

1 公平性

誰にでも公平に利用できること

自動ドアは、車イスを使用している人だけでなく、荷物で両手がふさがっている人やベビーカーを押している人など誰でも利用することができます。



2 自由度

利用する上で自由度が高いこと

洗面台の高さが違うと、背の高さや使う人の状況に合わせて、使いやすい方を選ぶことができます。



3 単純性

利用方法が簡単ですぐにわかること

エレベーターのボタンは、操作が簡単で、ボタンも大きく表示してあったり、文字や記号が立体的になっているものもあります。



4 わかりやすさ

必要な情報がすぐにわかること

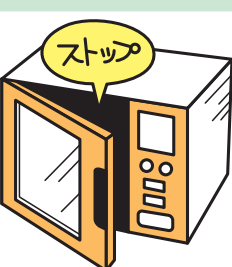
絵を使った案内表示は、子どもや外国人など、利用する人の経験や知識、言葉の能力に関係なく、必要な情報が分かります。



5 安全性

うっかりミスや危険につながらないこと

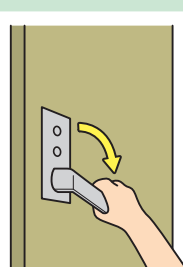
電子レンジなどの危険防止機能のついた家電製品は、使用中にうっかり開けてしまった時など、停止する仕組みになっています。



6 体への負担の少なさ

無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に利用できること

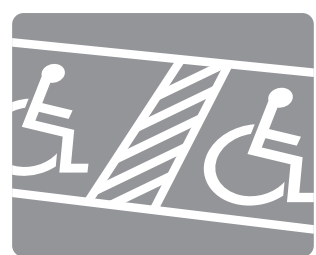
レバー式のドアノブは、丸いドアノブより、手の力の弱い人や荷物などで手が使えない時でも、簡単に開けることができます。



7 スペースの確保

使いやすい広さと大きさを確保すること

障がい者用駐車場は、車イスを使用する人などが、車の乗り降りをしやすいように、幅を確保しています。



施設だけでなく、まちの中や家の中にもいろいろなユニバーサルデザインがあるんだよ！



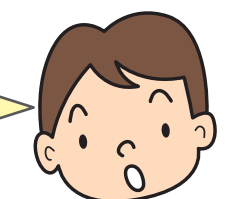
Q2 「バリアフリー」とどう違うの？

バリアフリーは、お年寄りや障がいのある人が暮らしやすいように、生活の中で妨げとなっているものを取り除くことです。

一方、ユニバーサルデザインは、最初からできるだけ妨げとなるものを作らず、できるだけ多くの人が利用しやすいようにすることです。

どちらも「みんなが安心して、暮らしやすいまちをつくろう」という目標は同じです。

ユニバーサルデザインは、お年寄りや障がいのある人だけでなく、子どもや妊娠中の人、ケガをしている人、外国人、大きい荷物を持っている人など、できるだけ多くの人が使いやすいようにするんだね。



みんなでできる！

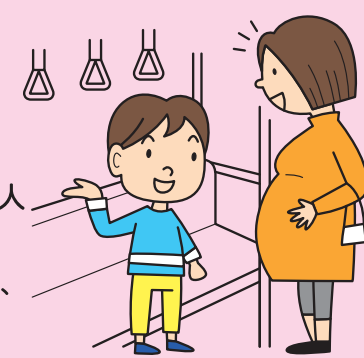
「心のユニバーサルデザイン」

ユニバーサルデザインは、お金や時間をかけなくても、ちょっとした気づきや思いやりの心で、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めることができます。

例えば…

1

電車やバスの中で、お年寄りや妊娠中の人など立っていることが大変そうな人には、席をゆずりましょう。



2

歩道はいろいろな人が通ります。自転車や看板などがあると通りにくく、危険です。だれもが安全に通れるようにしましょう。



3

困っている人や、迷っている人などを見かけたら、声をかけて手助けしましょう。



4

マナーは守りましょう。「私だけなら大丈夫」という気持ちや行動によって困っている人がいます。



みんなが暮らしやすい、安全で安心なまちづくりのために、まずは私たちにできることから始めましょう。



思いやりの心を持って行動するとユニバーサルデザインにつながるんだね。ぼくもできることから始めているよ！